

令和 6 年度進行管理・評価シート
津島市歴史的風致維持向上計画（令和 2 年 3 月 2 4 日認定）
（最終変更 令和 6 年 5 月 1 0 日）

□進捗評価シート(様式 1)

①組織体制(様式 1-1)	
1 歴史的風致維持向上計画の実施体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式 1-2)	
1 良好な景観に資する施策との連携	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式 1-3)	
1 歴史的建造物保存・活用事業	3~4
2 道路改良・道路美装化事業	5
3 天王川公園整備事業	6
4 歴史文化遺産案内板整備事業	7
5 尾張津島天王祭保存・振興事業	8
6 尾張津島秋まつり保存・振興事業	9
7 歴史・文化学習事業	10
8 茶の湯文化振興事業	11
9 津島の歴史・文化魅力発信事業	12~15
10 毛織物産業の普及促進事業	16
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式 1-4)	
1 文化財の保存・活用	17
2 文化財の防犯・防災	18
3 文化財の普及・啓発	19
⑤効果・影響等に関する報道(様式 1-5)	
1 津島神社の伝統行事掛け軸や版画で鑑賞	20
⑥その他(効果等)(様式 1-6)	
1 観光客入込客数の動向	21

□法定協議会等におけるコメントシート(様式 2)	22
---------------------------------------	-----------

評価軸①-1
組織体制

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
歴史的風致維持向上計画の実施体制		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	市長公室シティプロモーション課、建設産業部都市計画課、教育委員会社会教育課の3課を事務局とし、各事業担当者と横断的に連携しながら庁内の実施体制を設置する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
関連部署間での情報共有等を行うため、担当者会議を1回開催し、計画の推進についての情報共有や令和6年度事業の実施状況、中間評価に関する情報共有、令和7年度に向けた事業の確認を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		適正な計画の推進と事業の実施を図るため、引き続き定期的に担当者会議を開催していく。また、計画上の必要な手続について意識したうえで事業を実施し、変更等があれば早い段階から関係者間での情報共有に努める。	

状況を示す写真や資料等

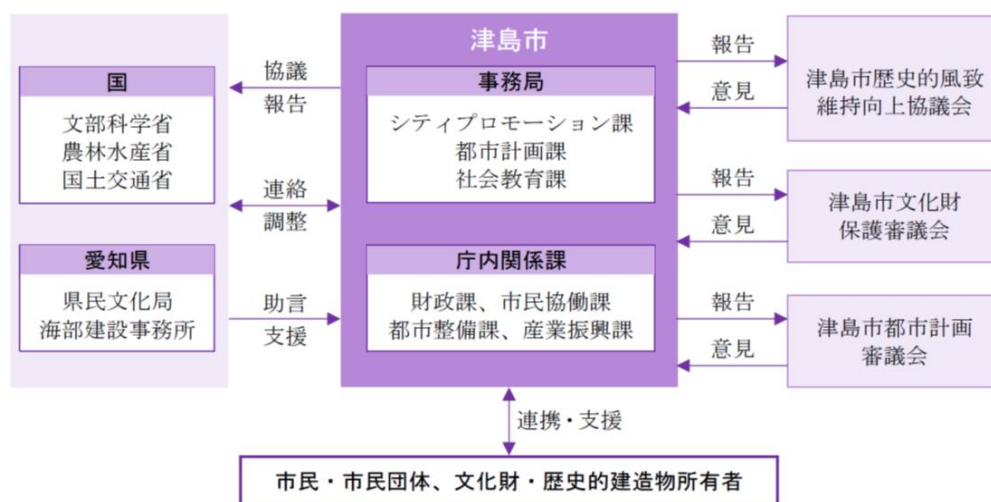
●津島市歴史的風致維持向上計画担当者会議

- ・開催日 令和7年2月19日(水)
- ・開催場所 津島市役所
- ・出席者 シティプロモーション課、都市計画課マスタープラン推進室、都市整備課、産業振興課、社会教育課
- ・議題
 - ①令和6年度実施事業の進行管理・評価について
 - ②軽微な変更について
 - ③中間評価について
 - ④情報共有(機構改革及び令和7年度以降の事業について)



津島市歴史的風致維持向上計画担当者会議

●計画の実施体制(令和6年3月31日現在)



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和6年度
良好な景観に資する施策との連携		現在の状況
		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 都市計画法や景観法などの制度を活用して、良好な景観の形成を図るため規制誘導の検討を行っていく。現在、本市では景観計画を策定していないが、歴史的風致維持向上計画と相乗効果的に関連付けながら策定を検討していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和5年度より、策定業務に着手後、市民アンケート調査を実施し、景観ワークショップを開始した。令和6年度は引き続き景観ワークショップを計4回実施し、景観形成基準(素案)を整理した。その素案を天王通り・本町筋沿道、津島神社周辺の土地・建物の地権者へアンケート調査を実施した。この調査は策定委員会で、議論して当事者の意見を重要視するため、丁寧に地元調整を図っていくものとして実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない

令和7年度は地権者アンケート調査結果をもとに地権者を対象とした意見交換会を実施する。景観形成基準(素案)の内容が受け入れられるかで今後の進捗状況に影響がある。

状況を示す写真や資料等

【「津島市の景観に関するワークショップ」の開催状況】

	日付	内容	参加人数
第1回	令和6年3月16日	まずは景観を知る	35名
第2回	令和6年5月18日	現地を歩いて景観を見る	27名
第3回	令和6年6月15日	将来の町並みを組み立てる	18名
第4回	令和6年8月3日	ルールを考える	13名
第5回	令和7年3月15日	みんなで考えた景観を見てみよう	33名
		累計参加人数	126名

本取組を幅広い団体で掲載

○景観シンポジウム

○機関誌「公園緑地」

○WEBメディア「メタバース総研」など



第2回



第3回



第4回



津島の景観を考えたい人たちだけでなく、
土地・建物を所有する地権者の意見を取り入れた

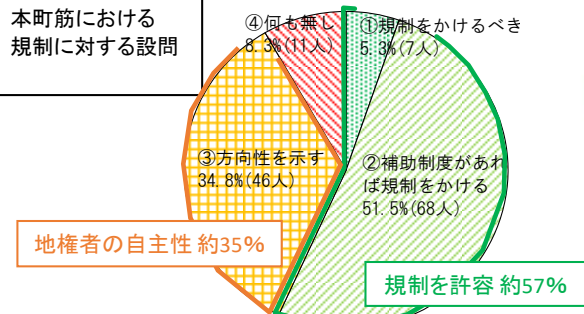
【地権者アンケート調査】

調査方法: アンケート郵送

送付対象者: 地権者950名

回答率: 64.5% (577/895) ※不着数55通

調査精度: 信頼度95%、誤差率2.6%

本町筋における
規制に対する設問

- 1. 市からの補助金の有無に関わらず、規制をかけた方がよい
- 2. 市からの補助金があり、所有者の費用負担が増えなければ、規制をかけてもよい
- 3. 規制をかけずに、どのような建物が津島の町並みに適しているか方向性を示してほしい
- 4. 規制をかけずに、町並みの方向性も示してほしい



各地域で景観ルール(素案を)
郵送してアンケート回答

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
歴史的建造物保存・活用事業①		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和2年度(2020)～令和11年度(2029)	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	歴史的建造物の維持・管理のほか、歴史的建造物内で尾張津島天王祭や尾張津島秋まつり等に関するものや季節ものの展示等を実施し、歴史的建造物の保存・活用を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
津島市観光交流センターについては、4月に「藤まつり展」、6月～7月に「天王祭展」、7月に「天王祭お囃子練習」、9月に「秋まつりお囃子練習」、「秋まつり展」を開催した。また、10月11日(金)～10月24日(木)に「天王祭絵画コンテスト」における作品展示を開催、茶室を活用した抹茶体験を通年で実施した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	継続的な保存管理や修繕が必要である。	
状況を示す写真や資料等		
↓天王祭絵画コンテスト(作品展示)  ↓抹茶体験 		

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
歴史的建造物保存・活用事業②		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和2年度(2020)～令和11年度(2029)		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的建造物の維持・管理のほか、歴史的建造物内で尾張津島天王祭や尾張津島秋まつり等に関するものや季節ものの展示等を実施し、歴史的建造物の保存・活用を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
旧堀田家住宅については、通常の保存管理に加え漆喰が剥落していた東蔵東面の修繕を行った。氷室作太夫家住居については、通常の保存管理に加え、雨漏りによる腐朽のために下がってきている梁の補強修繕を行うとともに、氷室作太夫家住居保存活用策定業務を実施した。一般公開をしている旧堀田家住宅では、4月13日(土)～5月6日(月)に「藤なみの里・津島展」、7月13日(土)～8月12日(月)に「津島神社の年中行事と天王祭」、2月1日(土)～3月9日(日)に「ひなまつり展」を開催した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	継続的な保存管理や修繕が必要である。また、個別文化財の保存活用計画の策定にあたり、市民のニーズ等も調査しながら進めていくことが求められている。		
状況を示す写真や資料等			

旧堀田家住宅東蔵東面修繕



修繕前



修繕後



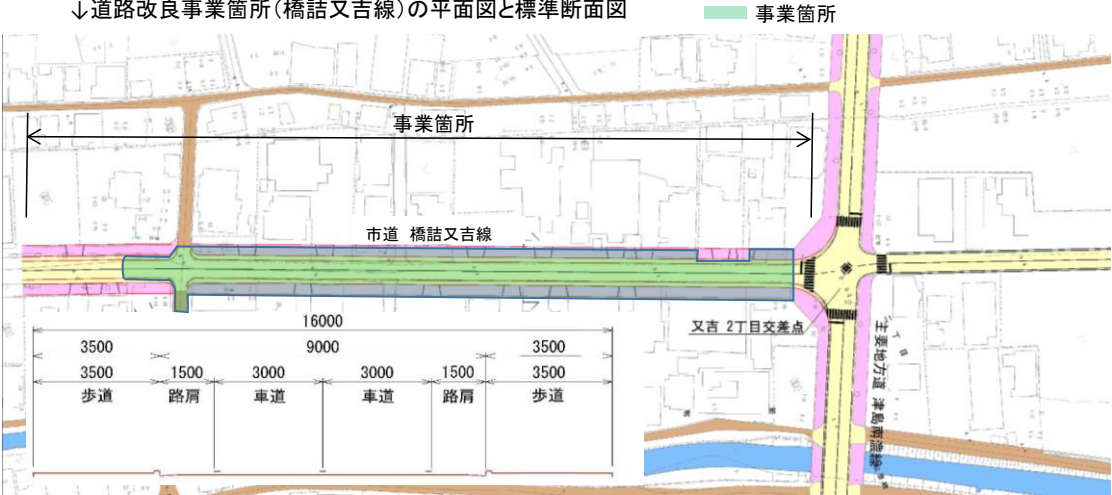
「ひなまつり展」



氷室作太夫家住居保存活用策定協議会

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
道路改良・道路美化事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和2年度(2020)～令和6年度(2024)	
支援事業名	都市構造再編集集中支援事業	
計画に記載している内容	津島神社や天王川公園へのアクセス向上や来訪者の回遊性を向上させるため、景観と調和した道路や小路の美化、道路の拡幅や歩道の整備等の来訪者に配慮した整備を行う。また、併せて無電柱化の検討を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
●道路改良 令和6年度は、買収済箇所(96.7%)の道路改良工事を行った。未買収箇所(63.26㎡)を除き工事完了次第、供用開始する。 ●道路美化(小路整備) 令和6年度は、L=111.3mの小路整備事業を実施済。平成27年度から小路整備及び道路美化を実施しており、総延長L=4,308.6mに対し、令和6年度までの整備済延長はL=3,000.6m(進捗率69.6%)。また、アスファルト舗装から景観に配慮した排水性舗装に整備した(L=111.3m)。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	さらなる津島神社や天王川公園へのアクセス向上や来訪者の回遊性を向上につながるために引き続き整備工事を実施し、整備延長を伸ばしていく。	
状況を示す写真や資料等		
↓道路改良事業箇所(橋詰又吉線)の平面図と標準断面図  事業箇所 市道 橋詰又吉線 又吉 2丁目交差点 事業箇所 16000 9000 3500 3500 1500 3000 3000 1500 3500 歩道 路肩 車道 車道 路肩 歩道		
↓工事後の小路整備箇所(金町地内外)  完成		

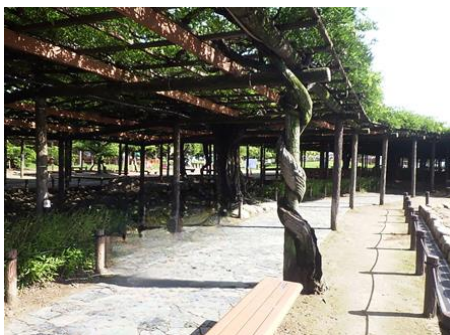
評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
天王川公園整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和2年度(2020)～令和8年度(2026)	
支援事業名	都市構造再編集集中支援事業	
計画に記載している内容	天王川公園内にある老朽化した藤棚の改修とともに、Park-PFIにより選定した指定管理者による藤棚や景観の維持管理等を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
令和6年度は、A=800.9㎡の藤棚改修を実施済。平成30年度から藤棚改修工事を実施しており、総面積A=3,756.0㎡に対し、令和6年度までの改修済み面積はA=2628.2㎡(進捗率70.0%)。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	藤棚改修事業については、当初令和6年度までの予定であったが、工事費が確保できなかった等の理由で令和8年度まで延長することとなった。老朽化が進む藤棚の早期改修には、集中的な予算投資が必要なため、引き続き公園事業に特化した国の支援事業の活用を検討し、改修を進める必要がある。	
状況を示す写真や資料等		



改修内容:コンクリート擬木の支柱をスチール製の柱に改修した。



評価軸③-4 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		
項目		評価対象年度 令和6年度
歴史文化遺産案内板整備事業		現在の状況 ■実施済 □実施中 □未着手
事業期間	令和2年度(2020)～令和6年度(2024)	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、市単独事業	
計画に記載している内容	老朽化等した歴史文化遺産の案内板を、必要に応じた方法で整備を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
令和5、6年度の2年間で30箇所を整備予定である案内板のうち、5箇所を整備を実施した。		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない		平成29～30年度に整備した歴史文化遺産案内板については、災害や現状変更による修繕の必要性を随時注視し、適切に対処していく必要がある。未整備の案内板については、令和5年度に25箇所、令和6年度には5箇所を整備を実施した。
状況を示す写真や資料等		
整備した案内板の一例  整備前案内板 →  整備後案内板		

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
尾張津島天王祭保存・振興事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和2年度(2020)～令和11年度(2029)	
支援事業名	国宝・重要文化財等保存・活用事業(民俗文化財伝承・活用等事業【尾張津島天王祭】の車楽舟行事)、市単独事業	
計画に記載している内容	尾張津島天王祭の祭礼に使用される用具等を学識経験者等による修理委員会での検討のもと修理・新調するほか、車楽舟行事や祭全体の運営・保存・継承のための補助を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
7月27日(土)宵祭、7月28日(日)朝祭を開催し、尾張津島天王祭に参加する車楽舟5車に対し、祭運営のための支援補助を実施した。観光客数は17万人。令和6年度の修理については、筏場車宵狭間、市江車屋形について、「国宝・重要文化財等保存・活用事業」として修理事業を実施した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	祭りについては、関係団体等と開催に向けての調整を図っていく。また、今後の祭礼用具修繕については、計画的に修理計画を立てる必要がある。特に大型の幕の修理方法等の検討が必要である。尾張津島天王祭車楽舟行事伝承保存委員会の中で、委員の意見を聴取しながら進めていく。	
状況を示す写真や資料等		
↓ 宵祭	↓ 朝祭	
 		
修理した用具の例(筏場車宵狭間)  		

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
尾張津島秋まつり保存・振興事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和2年度(2020)～令和11年度(2029)	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、市単独事業	
計画に記載している内容	学識経験者等による修理委員会での検討のもと、尾張津島秋まつりに使用される用具等を修理するほか、祭の運営や後継者育成のための補助を行う。また、秋まつりの実態を把握する調査を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
10月5日(土)、10月6日(日)に尾張津島秋まつりを開催し、まつりに参加する山車、石採祭車、神楽に対し、報償費を支払った。観光客数は4万人。保存・継承事業については、用具等の修理を予定通り実施した。また、津島秋祭(山車祭)調査については、調査委員が秋祭当日及び秋祭の準備期間に、各町内への関係者への聞き書き及び各町内から資料を収集するなどし、秋祭調査報告書を作成した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	祭りについては、関係団体等と開催に向けての調整を図っていく。また、保存・継承事業については、保存団体の予算の確保や担い手の確保に課題がある。団体へ新たな資金調達方法の検討を促し、地域のくくりを超えた担い手の参画を検討する。	
状況を示す写真や資料等		
↓山車	↓石採祭車	
 		
修理した用具の例		
		
石採祭車のハマのカバー (津島石採祭車 中部車)		
		
山車の基壇 (津島山車保存会 北町車)		
		
からくり人形の差し金 (津島山車保存会 神守上町車)		

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
歴史・文化学習事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 令和2年度(2020)～令和11年度(2029)

支援事業名 市単独事業、民間団体単独事業

計画に記載している内容 市では主に市内の小学校高学年の児童を対象に郷土の歴史や文化を学習するためのフィールドワークや祭の見学等を実施し、民間団体では大人から子供まで参加できるご当地検定を開催することで、市内外の住民に津島の歴史文化の学びの機会を提供する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

尾張津島天王祭の車楽舟行事の学習事業として、7月7日(日)に、尾張津島天王祭クイズ、津島祭礼図屏風(複製品)の見学、7月28日(日)に朝祭の見学、8月3日(土)に鉾持ちインタビュー、鉾持ち体験、花付け体験等を実施した(全体応募者:31人)。

また、津島商工会議所が主催の津島ご当地検定(「信長の台所歴史検定 津島の達人」)は、一般検定はWEBのみで開催した(期間:2月10日(月)から3月9日(日)まで 受験者:39名)。WEBで開催したことでリピーターや遠方の方にも受験していただけた他、ジュニア検定では小学生等の若年層の参加もあり、年齢問わず認知度が高まっている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	「祭りを学ぶ」は、引き続き熱中症対策などに配慮しながら、継続的な運営方法を検討していく必要がある。尾張津島天王祭についてさまざまな視点で学習テーマを設定することによって、わかりやすく伝える工夫をしていく必要がある。「津島の達人」はWEBのみの試験実施となり、全国各地から受験者を募り、市内外に津島の歴史文化・魅力を発信することが出来た。更なる周知方法を検討し、参加人数の増加につなげる。

状況を示す写真や資料等



朝祭の見学



鉾持ち体験

第17回 信長の台所 歴史検定
津島の達人 (パソコン・スマホでどこでも受験)
 試験日 令和7年 2月10日(月)～3月9日(日)

おかげさまで本年度で第17回目を迎え、受験者は1,200名を突破しました。

WEBで試験実施!! ご自宅で気軽に受験

- ◆『津島の達人』上級試験 試験時間:70分
 ※上級試験は3回受験すると市長表彰があります。
- ◆『津島の達人』試験 試験時間:70分
 『尾張津島見聞録』(ジュニア版含む)、『津島の祭礼』参照可
 (公式テキスト詳細は裏面をご覧ください。)

【両試験共通事項】
 出題内容:津島の歴史・文化・祭礼、その他関連するもの全般 全50問
 受験料:1,000円(税込)
 申込期間:令和7年1月13日(月)～2月28日(金)
 解答期間:令和7年2月10日(月)～3月9日(日)
 申込受付:公式HP(津島商工会議所内は別枠)
 下記アドレスまたはQRコードにてご確認ください。
 受験方法:①公式HP申込ページよりログイン登録
 ②ログイン情報およびパスワードを設定
 ③受験料を入金後(振込または持参)、解答期間において専用HPよりログインして受験
 受験料納付指定口座に振込または津島商工会議所に持参
 合格特典:合格証 及び つしん丸バッチ(達人)、天下布武バッチ(上級)
 詳細は津島の達人HP(https://tatsujin-jmd.com/)をご覧ください。

※パソコン操作等に不安がある方は、商工会議所で受験するなど個別に
 対応させていただきますので、お気軽にお問い合わせください!!

上級試験も受験された方全員に、原書実作画
織田信長をモデルとした「いくさの子」タオルをプレゼント!!

検定に関するお問い合わせ 津島商工会議所 〒496-8508 津島市ひだり4-1-44
 TEL:0567-28-2800 FAX:0567-24-2805 津島の達人HP(https://tatsujin-jmd.com/)
 ■主催:津島商工会議所 ■主幹:信長の台所歴史検定『津島の達人』実行委員会
 ■協賛:一般社団法人津島法人会津島支部、NPO法人まちづくり津島、クローバーTV
 ■協賛:津島市、津島市教育委員会、一般社団法人津島観光振興会、一般社団法人尾張津島青年会議所、
 津島ロータリークラブ、愛西市商工会、あま市商工会、空室市商工会、蟹江町商工会、入道町商工会、
 尾張村商工会 2023年度津島商工会議所理事

←ご当地検定のチラシ

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
茶の湯文化振興事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和2年度(2020)～令和11年度(2029)	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	毎年秋に津島市文化会館で行われる「津島市文化祭」の協賛行事等において、市民が茶道等を披露する場を提供する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
津島市文化祭の協賛行事として10月27日(日)に津島市文化会館小ホールにて「茶華道展」を開催予定だったが、衆議院議員総選挙執行のため中止となった。津島市観光交流センターの抹茶体験については、予約制で実施した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	「茶華道展」は衆議院議員総選挙の日程と重なったことから、同日に開催している行事が行えなくなり、集客が見込めないことから中止となった。また、並行して津島市観光交流センターの抹茶体験のような少人数で楽しめる事業を継続的に実施し、当市の茶の湯文化を伝えていきたい。	
状況を示す写真や資料等		
   		
参考: 令和5年度「茶華道展」の様子		

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
津島の歴史・文化魅力発信事業①		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和2年度(2020)～令和11年度(2029)	
支援事業名	市単独事業、都市構造再編集集中支援事業	
計画に記載している内容	ガイドボランティアや津島おもてなしコンシェルジュ、鉄道会社等と連携を図りながら、市ホームページやSNSでの情報発信、リーフレット・ポスター等の広報物の作成、イベントやまち歩きを開催等により、市固有の祭や文化財、町並みの魅力を発信する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
津島市のPRや観光客の増加を図るために、観光パンフレットの代わりとなる名刺サイズの観光カードを作成し、専用ラックとともに名鉄津島駅や津島神社、木曽三川公園等に設置した。 東海三県の全市町村の中で、津島市の寺密度がナンバーワンであることを活かし、津島の歴史・文化をテーマとしたイベント「津島てら・まち御縁結び」を2回開催した(参加延べ人数:1,382名)。 また、散策マップ、PR冊子について令和2年度に作成した内容の見直しを行った。散策マップについては愛知大学と連携し作成した。これにより当市の歴史的資源をはじめとした観光スポットや飲食店等地域資源の周知・案内媒体とすることができた。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	作成した散策マップやPR冊子などを活用し、より効果的な配架先及び配布先の検討を行い、市の魅力発信を行っていく。	
状況を示す写真や資料等		
↓観光カードと専用ラック  ↓津島てら・まち御縁結び 		
↓散策マップ、PR冊子の作成  		

項目		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
津島の歴史・文化魅力発信事業②			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和2年度(2020)～令和11年度(2029)		
支援事業名	市単独事業、都市構造再編集集中支援事業		
計画に記載している内容	ガイドボランティアや津島おもてなしコンシェルジュ、鉄道会社等と連携を図りながら、市ホームページやSNSでの情報発信、リーフレット・ポスター等の広報物の作成、イベントやまち歩きの開催等により、市固有の祭や文化財、町並みの魅力を発信する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
当市への来訪者の増加及び消費促進を図ることを目的に、名鉄津島駅までの往復割引乗車券、市内のお店で使用できるクーポン券等がセットになったお得な企画きつぷを販売する「つしまちあるきキャンペーン」を実施した(期間:9月7日(土)～12月22日(日)、きつぷ発売枚数:約1,050枚) 今回のキャンペーンでは、「美求(びーきゅう)」をテーマに、こころ・カラダの健康や美を一層高めていただけるような体験・スイーツ等地元の店舗・寺社によるコンテンツを提供し、地元店舗の振興に加え、当市の魅力発信及び来訪者の増加につなげることができた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		鉄道会社と連携を図りながら、津島市を訪れたいと思えるような内容及びコンテンツを企画し、市の魅力向上及び誘客促進につなげていきたい。	

状況を示す写真や資料等

↓つしまちあるきキャンペーンリーフレット(一部抜粋)



評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
津島の歴史・文化魅力発信事業③		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和2年度(2020)～令和11年度(2029)	
支援事業名	市単独事業、都市構造再編集集中支援事業	
計画に記載している内容	ガイドボランティアや津島おもてなしコンシェルジュ、鉄道会社等と連携を図りながら、市ホームページやSNSでの情報発信、リーフレット・ポスター等の広報物の作成、イベントやまち歩きを開催等により、市固有の祭や文化財、町並みの魅力を発信する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
令和3年度よりふるさと津島応援広報大使に就任している津島市出身のプロランナー神野大地氏を起用し、重点区域内で開催される津島神社の神事である開扉祭PR動画を制作し、市公式SNSやホームページ上で公開し、津島の歴史・文化の魅力発信を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	成果物によって歴史・文化に関心の薄い層へ、いかに展開していくかが課題となっており、各種媒体を用いた展開を検討していく。	
状況を示す写真や資料等		
↓ふるさと津島応援広報大使を起用したまつり(開扉祭)PR動画		
 		
 		

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
津島の歴史・文化魅力発信事業④		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和2年度(2020)～令和11年度(2029)	
支援事業名	市単独事業、都市構造再編集集中支援事業	
計画に記載している内容	ガイドボランティアや津島おもてなしコンシェルジュ、鉄道会社等と連携を図りながら、市ホームページやSNSでの情報発信、リーフレット・ポスター等の広報物の作成、イベントやまち歩きを開催等により、市固有の祭や文化財、町並みの魅力を発信する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
津島ガイドボランティアが10月2日(水)、10月31日(木)、2月10日(月)にガイド案内を実施し、3日間で約80名の参加があった。また、7月27日(土)に開催された尾張津島天王祭おもてなしイベントにおいて、天王祭を紹介する「ちょこっと天王祭展」を津島おもてなしコンシェルジュが企画・運営に協力し開催。尾張津島天王祭おもてなしイベント全体として約6,000人の参加があった。 また、津島駅西部地域に点在する「小路名板」を模した「小路名板カード」を作成し、約70枚配布した。 6月、11月には、独立行政法人都市再生機構(UR都市機構)が管理する名古屋市栄地下街の情報交流施設「まちのたね」で津島市シティプロモーションイベントを開催し、当市の祭りや特産品等のPRを行った(期間:6月24日(月)～30日(日)、11月18日(月)～11月24日(日))(来場延べ人数:10,269名(※)) ※来場延べ人数は会場のAIカメラにて測定しているため、会場スタッフ等関係者も測定に含まれる。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今年度、関係団体と連携し開催したシティプロモーションイベントのように、新たなPR方法について引き続き模索しながら、関係団体等と連携を図り、市の魅力発信を行っていく。	
状況を示す写真や資料等		
↓情報交流施設「まちのたね」で開催されたイベントの様子  		
↓小路名板カード 		

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
毛織物産業の普及促進事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和2年度(2020)～令和11年度(2029)	
支援事業名	津島市・津島毛織工業組合連携事業	
計画に記載している内容	愛知県や日本毛織物等工業組合などと連携しながら、市内の毛織物産業企業に対し、販路の開拓・拡大の支援や後継者育成のための研修、そのほか必要に応じた企業支援を行う。 また、市が実施する放課後子ども教室において、毛織物を学ぶための事業を実施する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
市と津島毛織工業組合が連携し、放課後子ども教室において毛織物学習プログラムを実施した(2教室で計2回)。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	放課後子ども教室における毛織物学習プログラムについては、今後も継続実施のため毛織工業組合と調整を行う必要がある。	
状況を示す写真や資料等		
		

講座の様子

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
文化財の保存・活用		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	指定等文化財の適正な保存・管理を図るとともに、市に所在する未指定文化財についても、調査等を通して文化財の価値を判断し、必要に応じて指定等といった保護措置を講じ、保存活用を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
指定文化財については、所有者や管理者等による適切な管理ができるよう指導・助言・情報提供を実施した。それにより、修理や保管が適切に行われた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		文化財の日常管理は所有者に委ねられる部分が多く、所有者が次代へと継承された場合、文化財の価値や適切な管理を行うための知識までも継承されるとは限らないため、所有者の情報を把握し、適切に指導・助言・情報提供を行う必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
●指導 修理方法(12件) ●助言 保管方法(1件) ●情報提供 補助金情報(2件) 事業参加案内(2件)			

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
文化財の防犯・防災		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	文化財の所有者や管理者等に対する防災・防犯面での知識の向上や啓発活動、日ごろの確認や文化財防火デーにおける消防訓練等の実施に取り組む。また、自動火災報知機や消防設備の適切な維持管理の指導・助言を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
旧堀田家住宅及び氷室作太夫家住居については9月18日(水)と3月19日(水)に消防訓練を実施した。文化財防火デーについては、津島神社にて消防本部と連携した消防訓練を実施した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	継続的な消防訓練や消防設備の点検及び修理が必要である。	
状況を示す写真や資料等		
 旧堀田家住宅での消防訓練  氷室作太夫家住居での消防訓練  ←津島神社での文化財防火デーに合わせた消防訓練		

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
文化財の普及・啓発		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	市内外に所在する文化財について、市内外の方に広く知ってもらうため、市内文化財の情報発信ができるWebサイト(「デジタル博物館」等)の運営や、市立図書館等にて行われる歴史講座などの文化財に関する各種講座、旧堀田家住宅における展示や公開を実施する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
旧堀田家住宅においては「藤なみの里・津島展」、「津島神社の年中行事と天王祭」、「ひなまつり展」などの展示を行い、旧堀田家住宅に足を運んでもらう機会を設けた。また、ホームページ「津島市の歴史・文化遺産」の運営を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	市が管理するホームページ以外に、まつりやまち歩き等のイベントを通じて文化財の普及・啓発を行うことも有効であるため、関係部署間で連携しながら、文化財のPR方法について検討していく。	
状況を示す写真や資料等		
 「藤なみの里・津島展」  「津島神社の年中行事と天王祭」  「ひなまつり展(ちりめん細工)」		

評価対象年度		令和6年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等
津島神社の伝統行事掛け軸や版画で鑑賞 堀田家住宅で企画展	令和6年7月17日	中日新聞
まきわら船幽玄 尾張津島天王祭	令和6年7月30日	中日新聞
秋彩る津島の「まつり」 将来担う若者たち活躍	令和6年10月8日	中日新聞
ジュニア版「津島の達人」熱戦 小学5・6年生31チーム参加	令和7年2月13日	中日新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

新聞記者への積極的な情報提供により、市の事業だけでなく関係団体等の活動も報道してもらうことができた。新聞報道されることで、多くの人に周知・PRすることができたとともに、市の歴史や文化、まちづくりへの関心の向上に寄与することができたと考える。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	例年行っているイベントでも新たな工夫やテーマを設定したり、これまででない取組を行う等、新しい情報を提供し、新聞記者に記事として取り上げてもらえるよう仕掛けていきたい。

状況を示す写真や資料等

↓令和6年7月17日 中日新聞



↓令和7年2月13日 中日新聞



↓令和6年7月30日 中日新聞



↓令和6年10月8日 中日新聞



評価軸⑥-1

その他(効果等)

項目		評価対象年度	令和6年度														
観光客入込客数の動向																	
計画に記載している内容																	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付																	
尾張津島天王祭や尾張津島秋まつりが通常開催されたことで、多くの観光者が訪れた。また、津島神社の初詣などの参拝者数の回復や尾張津島藤まつりの開催により、年間を通じて観光客入込客数はコロナ禍期間より復調傾向にある。従来観光入込客数の指標の一つであった尾張津島観光センターが令和5年度をもって閉館したこと、GPSを参考にした観光入込客数集計の見直しもあって前年に比較して統計上の観光入込客数は減少した。																	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし	国内ではインバウンドが驚異的な成長傾向にある。当市においても、観光資源を十分に生かしながら、インバウンド向けの情報発信や通年で近隣県市から誘客する取り組みの検討が必要である。																
状況を示す写真や資料等																	
津島市への観光客入込客数(延べ人数) <table border="1"> <caption>観光客入込客数(延べ人数)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>観光客入込客数(単位:千人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H31(R1)</td> <td>1,456</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>1,119</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>973</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>1,185</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>1,695</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>1,523</td> </tr> </tbody> </table> ※年間集計: 藤まつり、天王祭、秋まつり、津島神社、尾張津島観光センター(R6.3月分まで集計)、津島市観光交流センターの入込客数の合計に、百の位を四捨五入した数字				年	観光客入込客数(単位:千人)	H31(R1)	1,456	R2	1,119	R3	973	R4	1,185	R5	1,695	R6	1,523
年	観光客入込客数(単位:千人)																
H31(R1)	1,456																
R2	1,119																
R3	973																
R4	1,185																
R5	1,695																
R6	1,523																

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和6年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 津島市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時: 令和7年4月24日 14時～	
(コメントの概要) ●良好な景観に資する施策との連携 ・現在でも多くの町家が並んでいる本町筋を景観計画の重点地区に指定した方がよい。 ・全国的に少しずつ空き家が増えてきている中で、町並みを安定させるために、新しい方が入り、民活で投資していただき、街を再活用してもらうことが良い。市外から来て、仮に投資してお店をオープンする場合、両隣の建物も安定して良い景観だと保証されていれば投資しやすくなる。そのためにも、景観計画を策定した方がよい。ぜひ上手いように期待している。 ●歴史的建造物保存・活用事業 ・氷室作太夫家住居について、津島御師は非常に貴重な歴史的事実だと思う。御師制度が今の日本の近代観光の原点を作ったと、多くの方が指摘している。その原点を作った御師が、津島にもあったということで、その拠点となる建物を残していただくと、いずれ高く評価されるのではないかと感じている。現在、氷室作太夫家住居保存活用計画を策定しているとのことであるが、前向きに議論が進んでいって保存活用の良いアイデアが出ることを期待している。 ●尾張津島天王祭保存・振興事業 ・歴史的風致を維持するにあたって、祭りに係る様々な道具や物が劣化することに伴い、修理が必要になってくる。地元の業者さんと連携し、地元で修理できるものは地元で行う。有識者を交えて、どのように修理を進めていくのか話し合うことが重要である。 ・祭りの担い手不足に関して、もっと若い方の力を活用しないといけない。市内の学校からは、祭り等の伝統文化に参加できる機会は少ないとの声がある。津島市では、令和7年度から観光に特化した部署が新設されたため、今後は市から学校に対して、担い手不足を後押しするためにアプローチをしてほしい。 ●その他 ・インバウンドについては、津島市の場合、宿泊する場所がないのは、一つ問題だと感じている。全国的に、古民家を改装して民泊をやっている地域もあるので、そういった事も活かして、津島市は何か必要なのかを今後考えていくべきだと思う。 ・いかに津島市の歴史的な施設や文化を観光客に知ってもらうかを、今後津島市歴史的風致維持向上協議会において議論していくところだと思う。また並行して、津島市で長く滞在し観光してもらえるように、都市計画部門で年単位での開発を進め、商店街も含めて手法を考えていく必要があるのではないかなと思う。 (今後の対応方針) ・景観計画の策定にあたっては、地権者との合意形成を図りながら、令和9年4月の策定を目指していく。 ・景観計画の規制にあたっては、地権者アンケート調査において補助制度があった上での賛同が多かったため、今後市としては補助制度の検討を進めていく。 ・氷室作太夫家住居の建物保存や修理整備にあたっては、市の財政的な負担も大きいので、市民に意見をいただき、国の補助金メニューを活用しながら、多くの方の理解をいただけるような形で進めていく。 ・文化財の修理に関しては、祭関係者や専門委員の方を招いて伝承保存委員会を行い、修理内容について、より良い修理方法を模索しながら修理を進めている。国の補助を受けるにあたっては、一定の水準を保った修理を行うことが要件であるが、今後も伝承保存委員会で会議をしながら、修理方法等について検討を行っていく。 ・祭りに関しては、文化の継承や担い手の育成が大きな課題である。学識経験者や関係団体と引き続き協議しながら、今後の方針を検討していく。 ・観光客の増加を目指すために、インバウンド対策や、津島市に長く滞在してもらえるようなコンテンツの造成等も検討していく。	